

開倫塾塾生の皆様

受験生こそ、価値・意味・秩序の3つを自分の頭で考え、主体的に学ぶ力を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. <はじめに>

- (1) ものごとを、自分から進んで、主体的に行うときに大切なことは何か。
- (2) ①第一は、ものごとの「価値（大切さ）」とは一体何かを考えること。
②第二は、ものごとの自分にとっての意味を考えること、「意味付け」を行うこと。
③第三は、その価値を達成するためにやるべきこと、やらないことを自分の力で考えること。
自分のルールを決め、そのルールに従い、「秩序」を持って行動すること。
- (3) この「価値・意味・秩序」の3つが大切です。

2. (1) ①進学を希望する学校や大学で何を学びたいのか

- ②学校を卒業して社会に出てから、どのような仕事に就きたいのか
③どのような社会的活動をしたいのか
④どのような人生を歩みたいのか
⑤どのように生活して、一生を過ごしたいのか

自分の力で人生を切り開かなければならない受験生こそ真剣に考えてください。

- (2) 受験勉強は一体何のために行うのか。これこそ、すべての受験生は真剣に考えるべきです。
受験勉強に価値があるのか、受験勉強の自分にとっての意味は何なのか。多くの受験生が悩み
苦しみ、わからなくなり、虚無感（虚しさ）に陥る人さえいます。
- (3) 受験勉強の「価値（大切さ）」とは何か。開倫塾を創業した1979年以来一貫して、「受験勉強は、今通っている学校での勉強をもう一度やり直して、学校で学んだすべてのことを正確に、また、よく理解し、十分に身に着けた上で進学するために行うもの」と、塾生・保護者・地域社会の皆様に訴え続けています。
- (4) 受験勉強のすばらしさ、よさ、価値とは何か。それは、各教科の不確かであった内容をも
う一度しっかり勉強し直すことができることです。
- (5) もし、十分に勉強をせずに上級学校に進学したらどうなるか。例えば、大学での教育や研究は、学生が高校での勉強を十分にしてきたことを前提に行われます。難関大学であればある

ほど、高校での勉強をしっかりとしておかなければ、大学での教育・研究に耐えることができず、たとえ合格して入学しても、留年を繰り返して退学となることは明確です。

<ご参考まで ①>

大学では、中学校や高校で学ぶべきことを身に付けていない学生があまりにも多く、大学での教育・研究が成り立たないので、中学校や高校の教科内容をもう一度教え直す試みが盛んに行われております。これを「リカレント教育」と呼び、学会まであります。ちなみに、私は、日本リカレント学会の会員でもあります。

<ご参考まで ②>

大学の1・2年次の教育を「初年次教育」といいます。中学校や高校での勉強を怠って大学に入学する学生が多いため、「初年次教育」に中学校や高校の内容を含ませる大学が激増しています。

「初年次教育学会」というのもあり、私も参加しています。

*「大学教育学会」という学会のテーマにも、「リカレント教育」や「初年次教育」が含まれ、日本でも大学生の学力問題は社会問題となっています。

(6) 高校入試も全く同じです。中学校や教科内容を十分に理解・定着させずに、また、応用する力を身に付けずに高校に進学したらどうなるか。高校の教科内容はすべて中学校での学習が前提になっていますので、難関高校であればあるほど授業についていけず、定期試験でよい点数を取ることができず、学業不振に陥ること明らかです。

3. (1) 受験勉強の価値(大切さ)は、進学を希望する学校での勉強に耐えられる力を身に付けることにあります。

(2) 社会に出て仕事や社会的活動をするうえで、人生を生きるうえで、中学校や高校の勉強はすべて役に立ちます。役に立たないことは一つもありません。

(3) 受験勉強のときに取り組んだ様々な勉強は、あやふやであった中学校や高校で学ぶべき知識を確かにしますので、すべて役に立ちます。

(4) このことを踏まえて、自分にとって受験勉強はどのような「意味」をもつのかを考え、「意味付け」を行なってください。

(5) そのうえで、受験勉強をするうえでのルール(決まり)を自分の力で決める。これはやる・これはやらないと、絶体に行うべきこと・決して行わないことを自分の力で明確に決め、皆の協力を得てできるだけ守ること。自分なりの「秩序」をつくり、行動することです。

4. (1) 「高校」「大学」「学部」「学科」「専攻科」「職業」「職位」「業務・仕事」「製品」「サービス」「NPO」「NGO」「趣味」「スポーツ」「芸術」「政治」「外交」「言論」「出版」「家庭・家族」「人生」「友人」「地域」「日本」「アジア」「世界」「地球」「旅行」「読書」「医療」「介護」「生

命」「研究」「開発」「営業」・・・・・・・・

(2) このように、受験勉強のほかにも、価値・意味・秩序を考え、主体的に行動すべきテーマはたくさんあります。是非ご自分の力でお考えください。

5. <最後に一言。ご参考まで③>

(1) お気づきかとは思いますが、「価値・意味・秩序」という3つのことばは、哲学を考え、哲学をもって行動するときに用いることばです。

(2) 哲学をもう少し勉強なさいたい方は、「高校倫理」の教科書や参考書がお勧めです。

(3) 小寺聡編「もう一度読む山川哲学、ことばと用語」、同編「もう一度読む倫理」、どちらも山川出版刊がお勧めです。

(4) 進学を希望する高校生が通うフランスのリセという高校では、最終学年に哲学が必修となっており、哲学の試験に合格しないと大学進学はかなわないとされています。

(5) 日本では、哲学の基礎である倫理を学ぶ高校生は少なく、大学で哲学を履修する大学生は更に少ないので、哲学を学ばずに社会に出る人が激増しているようで残念でなりません。

(6) 開倫塾の塾生の皆様は、小学生・中学生・高校生・大学生・社会人とそれぞれの時代ごとに、自分の人生について自分の力で積極的に考えていただきたいと希望します。そのときに役に立つのが、高校の倫理や哲学です。ご参考まで。

2016年12月5日7時06分